

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年 9月 27日 (18:00~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 村崎、川崎、亀井、水谷、福田、辻、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	2人	2人	11人

前回の改善計画
新しくなった「基本情報」のシートを活用し、職員全員で話し合いながら項目に記入していく事で、少ない時間での情報の共有ができるようにします。ゆっくり記録をする時間をとり、収集した情報をもとに各個人のニーズにあった支援をしていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
ケアマネジャーが、初期に把握している情報を「基本情報」のシートに記載し、職員に提供を行いました。しかし、その後、サービスや会話を行う中で知った情報を「基本情報」に追加・共有することができず、情報を活かしてニーズに合った支援に繋げる事は出来ませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		7人	4人		11人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8人	3人		11人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1人	7人	3人		11人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	5人	4人		11人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規利用者の利用開始前にはミーティングを行い、利用者の情報やニーズについて話し合いを行いました。全体的には、本人や家族が希望していたサービスを提供できました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
全体的には希望のサービスの提供ができていたものの、細かい部分では、本人と家族の思いが異なる場合が多く、家族の思いを重視し、本人の希望に添った支援の提供が課題となりました。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ケアプラン②の「私の暮らしシート」を活用し、「以前の暮らしの流れ」、「生活する上でのこだわり」、「できること」「できないこと(支援してほしいこと)等の情報を得た時点で記載し、共有することで、その方に必要なことや望む暮らしを提供できるよう支援を行っていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年 9月 27日 (18:30~18:45)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 村崎、川崎、亀井、水谷、福田、辻、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	5人	0人	11人

前回の改善計画

外出する機会を増やし市内や市外にお出かけする事で、気分も晴れ、ストレス軽減を図る事が出来るように関わっていきます。その中で利用者も本音で話をする事が出来る様に、関わりを持ちながら支援していきます。職員と利用者との距離を縮め、「～したい」の実現に向けて何でもすぐに相談できる関係を築き、環境作りに力を入れていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者の高齢化に伴い、外出がおっくうに感じる人もいますが、いざ外出するとストレス発散ができ、会話もはずみ明るくなりました。また、外出後には、次に行きたい場所の話が出来るようにもなりました。しかし外出以外では、個別に「～したい」という話をあまり引き出せませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7人	4人		11人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7人	4人		11人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6人	5人		11人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6人	5人		11人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

「モニタリング表」の一番上に目標を記載し、日々目標に対して、どうであったかを記載しています。つまり、1人1人の目標が「見える化」できています。

「天気がよいから出かけたかった」という声に関しては、少人数で外出する事ができ、回数は増えました。個人ですが、「地域の祭で歌いたい!」という想いが実現できました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者との関係を少しずつ築く事ができているものの、1対1でゆっくと気さくに会話する時間を作れず、その方の「～したい」をうまく引き出せていないことが多いです。目標「～したい」の実現に関して、一部の利用者は実現できているが、実現にむけての関わりができていない利用者が多いです。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

入浴時や、食事やおやつの時間等を活用し、1対1で関われる時間を増やすことで、何気なく発した「～したい」の言葉を記録し共有します。人員配置の多い日を作り、利用者の何気なく発した「～したい」を、すぐ実現できることから行っていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 9 月 27 日 (18 : 45～19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 村崎、川崎、亀井、水谷、福田、辻、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	4 人	3 人	11 人

前回の改善計画
ケアプラン②「私の暮らしシート」の情報更新を行い、利用者の「以前の暮らし」、「こだわり」、「できること」「できていないこと」を再度把握し、利用者の少しでもその人らしい生活につなげる事が出来るようになります。

前回の改善計画に対する取組み結果
「私の暮らしシート」を活用し、現在の「できていること」「できていないこと」の把握や共有することはできましたが、その方の「以前の暮らし」や「こだわり」に関する情報をさほど集められず、その人らしさをさらに追及することはできませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		2 人	5 人	4 人	11 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		11 人			11 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4 人	4 人	3 人	11 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2 人	7 人	2 人		11 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		11 人			11 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
現在の情報は、随時ミーティング等で共有し、その情報を基にその人に合った食事介助や入浴介助を実施できました。本人の表情・様子・バイタル等で状態を観察し、直ぐに変化に気づき、対応する事が出来ました。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「以前の暮らし」や「こだわり」の情報を追加で集め、「私の暮らしシート」に追記し、共有することはできませんでした。本人の声にならない声をチームで言語化することもあまりできませんでした。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
家族への聞き取りや、普段の何気ない会話等から、「以前の暮らし」や「こだわり」を 10 個以上把握できるようにします。その方の以前の暮らしから、「その人らしい」暮らしを見つけ、現在の想いや体調にも配慮しながら、「その人らしい」暮らしの実現のためにできることを支援していきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年 9月 27日 (19:00~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 村崎、川崎、亀井、水谷、福田、辻、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	7人	3人	11人

前回の改善計画
 自然災害等いざという時には、事業所だけでは対応ができず、地域との連携は不可欠です。その際、地域の支えが得られるよう、日頃から地域と情報共有できる関係性をつくります。
 その1つとして、利用者の地区の民生委員を、本人と家族から聞き取り確認をしていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
 民生委員の把握に関しては、ケアマネジャーが利用者や家族に民生員を尋ねても、名前を知っているだけの方、家の内情を知られたくない為に関わりを断る方もいて、あまり関係を築けませんでした。しかし実際に、上手く関わられた方も少し居られました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6人	3人	2人	11人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4人	5人	2人	11人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6人	2人	3人	11人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1人	8人	2人	11人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 地域との関係については、市の催しや神社の清掃活動・きらめき祭・小学生を招いたカフェ等に関わることができました。民生委員との関わりでは、事業所での様子を見に来られる方もおられ一部関わりが持てました。
 利用者の現在の生活スタイルは、全てではありませんが概ね職員間で共有できました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 本人・家族も民生委員を知らないこともあり、利用者1人1人の民生員を把握し関係を作るまでに至っておりません(一部を除く)。利用者の住んでいる地域についても、民生員同様、把握できておらず、以前行っていたお店や友人関係等を把握することが課題です。
 事業所が直接接していない時間の過ごし方の理解も課題です。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 これまで、なかなかできなかった民生委員のとの関わりを少しでも増やしていきます。また、家族や本人との会話で、以前や現在の地域とのつながりを少しずつ把握し、必要に応じて地域とのつながりを支援し、以前の生活スタイルが継続できるように支援します。
 「きらめきにいない時間、どう暮らしているか」を把握し、その時間も安心して暮らせるよう、きらめきにいない時間で、いない時間にできることの支援を行っていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年 9月 30日 (18:00~18:15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 村崎、高野、谷口、北山、水谷、長谷川、川崎、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	7人	1人	11人

前回の改善計画	小規模会議で地域資源について話し合いを行い、家族や利用者に必要時にすぐにアドバイスが出来るように、たくさんの資源を見つけ出し知識を高めていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	小規模会議では新規利用者の情報交換が多くなり、地域の社会資源について話し合いが出来ませんでした。大野市全般の社会資源というより、利用者1人1人の住みなれた地域の資源を個別に調べていく必要があります。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3人	6人	2人	11人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		11人	0人		11人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		9人	2人		11人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		8人	3人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の状態や、家族の仕事・冠婚葬祭、介護疲れ等、いろいろな状況に合わせて、「訪問」から「通い」に切り替えたり、「通い」からそのまま「宿泊」にしたり、「通い」の時間を延長したり、「訪問」の回数を増やしたりと、柔軟な対応ができています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 小規模会議で、地域資源とは何か、実際どのようなものがあるか等の学習や話し合いの時間をあまりもてず、把握ができませんでした。利用者1人1人の自宅周辺の社会資源の発掘が課題です。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 大野市内全般の大きな社会資源について、学習を行います。 また、利用者1人1人の自宅周辺の社会資源発掘については、「軒下マップ」というツールを活用し、その方を中心としてどのような関係性があったか、今はどんな関係性があるのかを調べていきます。その上で活用できる社会資源を見つけ、連携を行っていきます。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年 9月 30日 (18:15~18:45)

6. 連携・協働

メンバー 村崎、高野、谷口、北山、水谷、長谷川、川崎、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	0人	3人	11人

前回の改善計画

当事業所と町内の方々との関係作りの為、気まぐれ喫茶を年に何回か開き、利用者と一緒におやつを食べて過ごし地域に密着した、近所付き合いの活動を行います。案内は、町内に回覧して頂けるように工夫していきます。

前回の改善計画に対する取組み結果

「きまぐれカフェ」という小学生を対象とした新しい試みを企画し、小学校や児童館への案内を行いました。夏休みに4回企画し、利用者と一緒にかき氷やパフェを作ったり、肩たたきをしてもらったりしながら、世代間交流ができ、少人数での参加ではありましたが、利用者の笑顔を見る事が出来ました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等)の他事業所との会議を行っていますか?		5人	1人	5人	11人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1人	3人	7人	11人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		3人	5人	3人	11人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		6人	5人		11人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

自治会の祭(天満神社納涼祭)には利用者・職員がカラオケや抽選会に参加したほか、天満神社の清掃活動を、月1回自主的に行っています。地域のサロン(天満サロン)は職員が1回参加しました。月1回のサロンや認知症カフェ、集会室の貸し出しでたくさんの方々が来所されています。夏休みは、「きまぐれカフェ」を企画し、地域の小学生を招いてかき氷等を一緒に作り世代間交流ができました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

サービス機関との会議はケアマネジャーのみ行っており、必要に応じて介護員や看護職員も参加していくことが必要です。サロンや集会室利用者が2階へたくさん集まるものの、1階の小規模フロアへ来る機会が少なく、連携が課題です。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

きらめき周辺の地域のイベントには積極的に参加しますが、利用者の住み慣れた地域のイベントに個別で参加できるようにしていきます。
「きまぐれカフェ」を継続し、子供達との世代間交流を持てるようにします。サロンや集会室利用者との関わりを増やせるしかけを考えていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年 9月 30日 (18:45~19:00)

7. 運営

メンバー 村崎、高野、谷口、北山、水谷、長谷川、川崎、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	3人	5人	11人

前回の改善計画
 より多くの方に小規模を知って頂く為に、日頃の活動内容を「小規模新聞」に盛り込み、町内に年数回配布します。小規模の良いところ、活動内容を地域に向けて発信し、いつでも立ち寄れる事業所を目指します。

前回の改善計画に対する取組み結果
 毎月発行の通信誌とは別に、「小規模新聞」を作り、小規模の活動を知ってもらおう予定でしたが、通信誌の発行だけに留まりました。しかし、神社の清掃活動や、ラン伴、認知症カフェ（結カフェ）、きまぐれカフェ等で、地域の方々と一緒に活動を通して触れ合う事ができ、きらめき内の通信誌に毎回掲載する事は出来ました。また、きらめきでの活動は、「地域とともに歩む福祉だより」というきらめきのブログやフェイスブック等で発信できました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1人	3人	4人	3人	11人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	4人	4人	2人	11人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3人	5人	3人	11人
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	4人	3人	3人	11人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 地域と協働した取り組みに関しては、「地域と一緒に神社清掃活動」を毎月開催し、地域住民や開成中学生等と交流することができました。また、認知症カフェ（結のカフェ）やきらめき秋祭り、ラン伴等、たくさんイベントを実施することができました。
 利用者・家族の声は、日々聞き取り、生協のCRMというソフトに入力し全体で共有できています。また年1回の利用者満足度調査（提出先本部）を行い、苦情要望を運営に活かしています。地域からの声では、駐車場のラインが見えにくいという声には改善を行いました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 地域からの声に関しては、直接言われる方は大丈夫ですが、その他の方の声の収集が課題です。職員の意見に関しては、日々のミーティング、小規模会議、全体職場会議、方針会議等、意見を言う場があるものの、自由に言い合える環境作りが課題です。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 地域や職員の意見に関しては、生協のアイデア提案制度を活用し、改善が必要なこと、アイデア等を集めて、改善や新たな取り組みを行っていきます。
 地域との協働した取り組みについては、神社清掃や認知症カフェ等、広報をしっかりと行い、継続・発展させていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年 9月 30日 (19:00~19:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 村崎、高野、谷口、北山、水谷、長谷川、川崎、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	2人	3人	11人

前回の改善計画

職員一人一人の意識向上を目的に、多くの外部研修に参加する事で、自己のスキルアップを目指します。そこから外部の方と交流ができ、地域での多職種との集まりにも、自然と出向けるように自信を持って仕事をしていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修案内や会議の情報が、全職員に届かず参加出来なかったり、自己で見つけて自主参加をする事が仕事内容上難しい事もあり、職員間にもスキルアップに差が出てしまいました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2人	6人	1人	2人	11人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	5人	2人	2人	11人
③	地域連絡会に参加していますか		1人	6人	4人	11人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2人	3人	4人	2人	11人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場内・生協主催の研修には、ほとんどの職員がすすんで参加する事が出来ました。研修後は、これまでの仕事を振り返るとともに、ケアを見直す機会となりました。

資格取得に関しては、介護福祉士取得のための研修に積極的に参加をしています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

外部研修や地域での他職種研修会には、開催を知らなかったり、仕事の都合で参加出来ませんでした。年間を通しての研修計画作りが課題です。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

年度の初めに、研修計画を職員別に作成し、研修参加ができる環境を作ります。年度の途中で研修案内がきた場合は、参加希望もしくは指名を行い、参加者を決定、参加できるよう勤務調整を行います。大野市の多職種連携会議に関しては、主旨を説明し、積極的な参加を募ります。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年 9月 30日 (19:15~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 村崎、高野、谷口、北山、水谷、長谷川、川崎、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	0人	11人

前回の改善計画
月1回の小規模会議時にミニ講座を開き、日頃から人権、プライバシー、などについて各自の意見を発表し意識を高めていきます。送迎時等で知れた情報はメモに書き、各自黙読で確認し、ミーティング時に話し合いをして個人情報の管理をしていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
小規模会議では、認知症についての学習会を開き、職員が色々学ぶ事が出来ました。身体拘束・虐待については、生協本部主催の研修会に参加しました。送迎時などで知り得た新しい個人情報については、直ぐにミーティングノートに記載して、ミーティング時までにノートを確認し情報を共有し、内容について話し合う事が出来ました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7人	4人			11人
②	虐待は行われていない	7人	4人			11人
③	プライバシーが守られている	2人	9人			11人
④	必要な方に成年後見制度を活用している		11人			11人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2人	7人	2人		11人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
プライバシー保護の面では特に、入浴前後やお泊り時の着替え・おむつ交換時等、他の利用者からは分からないように配慮ができていました。日中は玄関に鍵をかけない環境を行っています。また生協本部主催の身体拘束・虐待研修を受講し、適切なケアをめざしています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
プライバシー保護に関して、全職員と早く共有しようと思い、つい他の利用者に聞こえそうな声大ききで、伝達してしまう面がありました。個人情報の管理に関しては、ミーティング中に利用者の対応をしてそのまま席を離れ、机に書類を置きっぱなしにしてしまう事がありました。虐待に関しては、虐待ではないが、言葉遣い等「不適切なケア」がないか点検が必要です。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
身体拘束・虐待に関しては、毎年研修を受け、「不適切なケア」がないか、職員同士、点検を行っていきます。個人情報の管理については、書類やメモの置きっぱなしによる個人情報の紛失、他の利用者の前での大きな声での情報共有等しないよう注意を行っていきます。